

# 第 38 回財団旗少年野球大会

## 開 催 要 項

1. 主 旨 野球を通じて帯広市における青少年の健全なる育成並びに少年野球の普及振興に寄与するものである。
2. 主 催 (一財) 帯広市文化スポーツ振興財団
3. 共 催 帯広市教育委員会・帯広軟式野球連盟
4. 主 管 帯広少年軟式野球連盟
5. 参加資格 (1) 帯広市内の小学 6 年生のチームとする。  
但し、6 年生で編成が困難な場合は 5 年生以下を含むことを認める。  
(2) チームの全員が、スポーツ傷害保険又はこれに類する保険に加入していること。  
(3) 選手登録は、1 チーム補欠を含めて 25 名以内とする。  
(4) 監督は、20 歳以上のものとする。  
(5) チーム名は、必ずつけること。  
(6) 日本スポーツ少年団登録チームに限る。
6. 期 日 (1) 受付及び監督会議 8 月 12 日 (土) 18 : 00 (会場 : 帯広の森野球場)  
及 び (2) 1 次戦 8 月 19 日 (土) (9 : 00)  
会 場 (役員は 7 時 30 分までに集合してください)  
(開場は 7 時 00 分です) ※ 開会式は行わない  
(3) 2 次戦 8 月 20 日 (日) (9 : 00)  
8 月 27 日 (日) (8 : 30)  
(開場は 7 時 30 分です)  
(5) 準決勝・決勝 9 月 10 日 (日) (9 : 00)  
(開場は 7 時 30 分です) ※ 閉会式は決勝終了後行う  
  
※注意 ・雨天の場合は朝 6 時に帯広の森野球場に集合して下さい。  
主催者及び事務局により日程を協議報告いたします。  
・試合観戦者は極力、当該試合のチーム関係者のみとする。
7. 大会規則 (1) 試合の審判は、帯広軟式野球連盟審判協会が行う。2023 年度公認野球規則を適用。  
(2) 1・2 次戦は 5 イニングまでとし、正式試合は 3 イニングとする。3 回以降 7 点差の試合はコールドゲームとする。  
(3) ①準決勝及び決勝戦は 6 イニングまでとし、正式試合は 3 イニングとする。4 回以降 7 点差の試合はコールドゲームとする。  
②選手の健康管理を考慮し、試合時間は全試合 1 時間 30 分とし、1 時間 15 分を超えて新しいイニングには入らない。  
③ゲームは①・②どちらも試合成立となる。  
(4) 時間内同点の場合はタイブレークを 1 回適用する。(無死 1・2 塁)さらに同点の場合は抽選とする。試合時間を超えて同点だった場合は即抽選とする。  
(5) 投手は 1 日に投球数が 70 球を超えて投球することは出来ない。(4 年生以下なら 60 球)ただし、70 球(60 球)目を投じた打者が完了するまで、投球することができる。  
(6) 捕手はファールカップを着用すること。

8. 競技に関する特別規則 タイムの回数は3回以内とする。なお、**タイブレーク（無死1・2塁）**となった場合は1度行くことができる。
9. 試合に関する取決め事項 (1) シートノックは**5分間**とする。(1次戦・決勝戦は行わない。) 別のノッカーが外野でノックすることを認める、但し服装はユニフォーム着用。  
(2) シートノックの際の補助は全員ヘルメットを着用すること。また、登録されたコーチが補助員として携わることを認める。ただし、ブルペンキャッチャー等は認めない。  
(3) 天候及び大会運営上シートノックを行わないで試合を開始する場合もある。
10. 大会使用球 公認球として〔J〕号ボールを使用する（ケンコーJ号球）
11. 表彰 優勝チーム、準優勝チーム、3位チーム（2チーム）※登録選手のみ。  
**※決勝戦終了後優勝チームから順に、事務局又は財団より表彰**
12. 参加料 8,000円（8月12日（土）監督会議で受付いたします）  
※1 選手名簿を3部提出の事  
※2 止むを得ず、出場辞退となった場合でも、参加料の返金は致しかねますのであらかじめご了承ください。
13. 問合せ先 (一財) 帯広市文化スポーツ振興財団  
帯広の森野球場 TEL 48-8338
- 帯広少年軟式野球連盟  
副会長 伊藤 博喜 TEL 090-5070-2171